

## 令和6年 ぼちぼちの会研修会報告

令和7年1月25日(土)14時から

本年度のぼちぼちの会の研修会を臨床心理士の武部 愛子先生を講師にお招きして下記の要綱で実施しました。当日の参加者は25名ほどで、保護者をはじめ、小・中学校教員・支援学級担任・SSW・SCなど幅広く参加されました。講演の前半はテーマに沿ったお話、後半は、講師の先生に具体的な質問などを行い研修を深めることができました。武部先生のお話を聞くのは今回で12回目。他の保護者の会の学習会を含めるとかなりの数になります。しかし、お話を聞くたびにその内容が広がっていくのを感じます。今回も質疑応答の時間など先生の具体的な指導を仰ぎながら、単なる知識としてだけでなく具体的な対応法など多くのことを学ばせていただきました。普段から直接生徒や保護者と接して指導をされたり、各地での事例を積み重ねてこられている先生の知見故だと思います。ありがとうございました。

### ～思春期・不登校・特別支援教育～

◎日時：令和7年1月25日(土)14時から

◎場所：福岡市立若久公民館 講堂(福岡市南区若久1丁目11-20)

◎講師：武部 愛子 先生(臨床心理士)

◎内容 ～思春期・不登校・特別支援教育～

生徒の進路情報・発達段階と親の関わり・障がいの理解など



- ・臨床心理士 ・福岡こども短期大学 子ども教育学科 特任教授
- ・福岡市教育委員 ・福岡市スクールカウンセラ運営委員
- ・太宰府市スクー ルカウンセラー
- ・福岡県スクー ルアドバイザー・発達障がい児等教育継続支援事業に係る巡回相談 相談委員

・学童保育協会 理事 ・福岡県臨床心理士会 理事博多学園高校スクー ルカウンセラー

#### 講演内容

- ・母子分離の解消について。
- ・母親も相談を続けている間は大丈夫。いつになったら離れていくのか心配になる。
- ・本来学校は子どもだけでいくのだが、母親の同伴を求められる。
- ・具体的に親が心配すること(例えば持病があるとか発達の課題ある時)がある場合は別だが、学校は自分で自分を守る方法を集団の中で学ぶところ。
- ・学力は何とかなので、先送りでも大丈夫。
- ・絶対いつかは終わる。親が声をかけている間は大丈夫。何かかかわっていれば大きな問題にはならない。
- ・自立の手立て(生きていく)は今の時代いろいろある。必ず相談を続けること。

- ・S C保護者が会えるのであれば十分。子どもにあってほしいと思われることがあるが保護者と会えれば十分。保護者を通して子どもと関われる。（何となく元気になれる）
- ・年度末は根拠はなくても何となくやる気が出てくる。「あと少しだから」「4月からは・・・」本人がその気になることもある。大人から見て過剰な期待はしない程度に知っておく。
- ・子どもは上がり下りはあるが保護者はフラットで変わらないほうがよい。
- ・行きづらくなってから5年ぐらいは続くと思う。（動きはあるが）大事なことは子どもの成長を見守る。
- ・きっかけはあるが時間がたつて問題が薄れると本人の元々持っている性格がはっきりしてくる。それを変えるには時間がかかり、ゆっくり見守ってゆく。
- ・何となく適応のむつかしい子（兄弟は出方が違うが生き方は変えられない。）はみんなと少しずれているから和む。
- ・出口はあるのかと悩んでいる人も多い。
- ・親子の対話ができなければ100%否定しない。子どもの言動に動じない対応がいる。普通に話しても子どもは否定されているとしか感じない。

## 質疑応答

### 学びの多様な学校もできるが大事なことは？

- ・家庭科などの時間を少なくすることはいいのか。
- ・基本的に通える学校を作るといえるが、受け入れが30人ぐらいで大丈夫なのか

### 子どもが親の言うことを受け入れてくれない。すぐ反発する

- ・思春期・社会のルールが親→小5～6年になると周囲の考えと親の言うことのずれから親の反発が始まる。小1～5年くらいまでは一番穏やかな時期。
- ・親が何とかしなければという気が強すぎると親の発信を受け取らなくなる。
- ・子どもには期待されたことをやり遂げたい（小学生学童期）。気持ちが強すぎると重荷になる。「普通のことをしたいだけ」

### 褒めること。言いほめ方とは

- ・ほめるより、本人の行動を認めること。（関心を持って見守ってもらいたい）

### 被害妄想がひどいときは。気持ちの切り替えができない生徒の対応

- ・自閉系→時系列に並んでいない。→フラッシュバック→過去の感情や行動が襲ってくる。
- ・引き出しが突然開く。（周囲はその行動を理解しにくい）本人が嫌だということを理解して受け入れてあげる。忘れる力。

### 学校に行かなくなって表情も穏やかになり、家庭内で過ごしやすくなった。適度なかかわ

### り方とは。距離感がわからない

- ・関わりすぎるよりかかわりすぎないほうが害はない。何かあったら自分で言うてくる。

中3までこのままということはない。話易いように雑談レベルを増やしておく。

**知的・情緒・通級などどこを選ぶか悩む。**

・IQ テストの値による判断。・どこでどの能力を伸ばすか。・通級は基本、学習の補助はしない。支援級で何を学ばせるかはっきりさせる。(学力・気持ち・対人)

**発達の課題など本人に伝えるべきか**

・知るか知らないかで本人が変わるわけではない。いろいろなタイプがあり全ての人がどこかずれを持っている。プラスになるかは個別判断。知らなかったほうがよかったという人もいる。個性と特性は生きていきやすさの問題。

### **ぼちぼちの会 学習会 (武部愛子先生) 感想**

<支援者>

●保護者の方のいろいろな悩みを聞くことができたこと、武部先生のアドバイスで学びもできたこと、とても参考になりました。その子の気持ちの不安定は10年、言われていたので、支援する側も急がず長い関わりをしていきたいと思います。相手を「認める」「関心を持つ」ことを忘れず、支援していきたいと思います。貴重な講演ありがとうございました。

●お子さんの不登校に悩みながら頑張っているお母さん方をお誘いして、参加させていただきましたが、私自身も武部先生や木村先生のお話をお聞きして大変勉強になりました。担当している通級指導教室にも「10年」の苦しい時間の中にいる方々もいるので、親子さんが笑顔で過ごせることを考えていきたいと改めて思いました。このような機会を作ってくださいに感謝しております。ありがとうございました。(月隈小 柴田)

<保護者の方>

●質問された方からの感想

(高2男子です。4月から学校へ行かず、家でも部屋にこもっています。何も話しませんし、会話もなし、会わないようにされています。)

●・昼食の片付け・布団、毛布の交換・洗濯⇒親の気持ちはしてほしい。

反応しすぎない、さらりと過ごす、性格的なことを肯定する、認める。)

●本日はありがとうございました。適切な子どもへの対応について学ぶことができました。声掛け足らず、間違いしていたために子どものフォローができてなかったことが思い当たります。今回この様に(不登校・ひきこもり)子どもがなってしまった件についても適切な対応、コミュニケーションをゴールにつなげたいと思います。

●ありがとうございました。直接質問ができて、回答していただいて助かりました。

「かげにあたるな」なんて無茶苦茶なことを言うことが嫌でしたが、主張できることは良

いことだと思えることができました。

●今日は自分の頭の固さ、わが子への子育てのこだわりを改めて気付くことができました。ありがとうございました。武部先生のお話を聞くたびに反省するばかりです。

●娘の性格は変わらない、娘のありのままを見守り、練習期間だと。こちらがドーンとかまえる。先生のおかげで元気が出ました。10年ですむようつかず離れず頑張ります。

●お話ありがとうございました。頭がパンパンで整理が付きませんが、子どもが何を欲しているのかを改めて一緒に考えて、どう過ごすかを話してみたいと思います。

●楽しく、面白く、ためになるお話でした。初めてですが参加してよかったです。三学期になって、少し学校に行き始めたのは、本人がその気になっているのかなど。私は、いつも変わらない心で、見守り支えていきたいです。

●豊富な実践から、とても理解しやすくお話をしていただき、ありがとうございます。「今のかかわりでいいよ」と言っていただき少しホットしました。私は、一点集中、猪突猛進なところがあるので、気になったらやり過ぎてしまったり、気づかなかったり、とバランスをとるのが難しいと思っていました。私は、穏やかな生活を続けることに集中し、もう中学生なので、進路など具体的なことに本人が信頼できる大人と進めて（会うところまでサポートしつつ）もらおうと思います。

●武部先生のお話は、もっと多くの方々に聞かせてあげたいと思いました。「上がりもせず、下がりもせず、漂っている状態」難しいことですが、これが必要だと共感しました。木村先生から話が出た「褒め言葉」についてから武部先生の言われた「褒めるというよりは、認める」は大事だと思いました。また、それぞれの方からの質問で、親の悩み、子の接し方、あらためて確認し納得できました。また次の機会を楽しみにしています。

●助けてもらう力や、生きるスキルを身につけることが大事なポイントだということ。改めて心に刻みたいと思いました。

●貴重なお話、ありがとうございました。

不登校も長くなり日々悩みは尽きませんが、先生の語り掛けや、皆さんのお話を聞き、不思議といい方は悪いですが、日々の悩みが小さく感じ、何とかなるような気がしてきました（笑）ゆっくり進んでいこうと思えました。

●将来生きていくために、今どこで過ごすのが良いのか、子どもの状態を把握することが大切だと思いました。ありのままを認めたいです。

●本日はありがとうございました。初めて参加しました。他のお母様の悩みを聞いたことや、先生のアドバイスが聞いて良かったです。子どものための居場所がどんな場所があるのか、自分の知識も増やしたいと思いました。また参加したいです。ありがとうございました。

